

本県教育の現場視察

岡山の教員、醸芳小訪問



学力向上について意見を交わした研究会

岡山県津山市の教員による授業改革推進員らは19日、桑折町の醸芳小を訪れ、本県教育の取り組みを視察した。

学校の授業改革に向け、モデルとなる学校の取り組みなどを把握するのが目的。醸芳小は昨年度に始まった本県の「学びのスタンダード」推進事業の推進校に指定されている。

推進員らは4年生の算数の授業を視察した後、同校教員の研究会に加わり、子どもたちの学力向上や授業改善方法について意見を交

わした。推進リーダーの高橋寿美一宮小教頭は「福島県の授業スタンダードは良いものになっている。取り組みもしっかりしていると感じた」と話した。一行は20日に郡山市の大槻小を視察した。